
んかやパワー

宇ノ鹿 すい

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

んかやパワー

【コード】

N37890

【作者名】

宇ノ鹿 すい

【あらすじ】

やかんや酢蛸が裏返る。

スマイルの後にノアの箱舟が、酢マイルポイントを提供してくれたことにより蛸、栄える。蛸は酢蛸になって以来、微笑みを上手く作れない。自らの酸っぱさに嫌気が刺してしまうからだ。やっぱり逃げ出さなければよかった、地球に止まって滅びてしまえばよかったと後悔している。だが航海はもう始まってしまったのだから、酢マイルポイントだってもう返却は不可能なのだ。付加されたもののせいで後悔するなんてこの航海の先が知れるよ、なんて先見の明を己が持っていることを酢蛸は主張するが相変わらず酸っぱいままだから何処かダサイ。魅力が湧かない。

その瞬間に沸騰した薬缶の音を、耳にしたので、魅力の無い酢蛸は立ち上がり、道を歩いた。何も道標が無いから、未知知るべき行いをしないと先が広がらない。だから彼は己の航海の路を開くために、開拓するために、間逆になった。

こうして彼は、コダスと名乗るようになったのだ。

んかやが道に立っている。誰だお前、薬缶の癖になぜんかやなのだ、と尋ねるとんかやは答える。「酢蛸さまが逆になったので薬缶だった私もんかやに成ってしまったのです。んかや、って何だか読みづらい名前になったのですがどうしてくれるのですか。しかし、私なんかはまだマシな方で、みんな名前がおかしくなりました。スマイルは墨枘に、ノアは亜野に。酢マイルポイントに至っては、トインポ墨枘という名前になってしまいました」

「トインポ墨枘だと？」

「そうです、トインポ墨枘です」

「トインポ墨枘では可哀想だな」

「そうですね。間逆になってしまったからこうなってしまったの

です。あなたがあなたの未知なる航海を道にして後悔しないようにしたいなんて酸っぱいことを言い出すから、こういう魅力の無い展開になってしまうのです。何ですか、トインポ墨枘って。可哀想過ぎるでしょう。小学校でいじめられるかもしれませぬよ」

「可哀想だな」

「もう！ コダスさんは本当酸っぱい輩ですね。間逆になってもそこがまったく変化無し。私は怒りましたよ。んかやの私が、沸騰を生じさせてこの亜野の船箱を爆発させてしまいます。いいですか？」

「あははははは」

「何を笑っておるのです」

「馬鹿だねんかや君は。間逆の君が沸騰したら、沸騰の逆の現象が生じるのではないのかね。あるいは、ここは亜野の船箱だ。もう船ではないのだよ、ここは。箱なのだよ」

「たいして変わりませぬよ、箱だろうが船だろうがね」

「コダスパワー！」

「うわっ。酸っぱい。いきなり何するんだ。…、あれ、意識が…」

「あははははは。これこそ俺のコダスパワーだ。お味はいかがかな？ 酸っぱすぎて気絶してしまっただか。まったく、んかや君は荒々しくてダメだ。危うく俺の航海に後悔の拍車がかかる所だった。小癩なんかやに邪魔されるだなんて、癩だからな。はくしゃく、はくしゃく」

「甘いんじゃ甘味野郎」

「うおう、卑怯じゃないか卑劣じゃないか」

「んかやパワー！」

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n3789o/>

んかやパワー

2011年11月13日05時51分発行